

いいな! みんなのまち 新吉田

わたしたちが
目指すまち

地域とのつながりを大切に
みんなが手をつなぐまち 新吉田

～支えあい 明るく安心して暮らせるまち～
～世代間の交流 話し合いができるまち～
～なかよく健康にすごせるまち～

【地区の概況】

新吉田地区は区の北西部にあり、早淵川と鶴見川に面しています。地区の一部は市街化調整区域になっています。第三京浜道路の都筑出入口も設置されています。地区の東側は戸建てが多く、マンションも点在し、工場等の企業拠点があります。西側は起伏の激しい丘陵地で、農地や樹林地が残ります。

【人口の特徴】

※人口・世帯数等の統計データは新吉田あすなろ地区と共通です

	世帯数	総人口	0～14歳	15～64歳	65歳以上
R6年9月	13,470 世帯	28,711 人	3,687 人 (12.8%)	18,275 人 (63.7%)	6,749 人 (23.5%)
H31年9月	12,920 世帯	28,455 人	3,807 人 (13.4%)	17,905 人 (62.9%)	6,743 人 (23.7%)

4期計画の振り返り

◆今までの取組

子育て支援

- 子育てサロンを運営し、地域の輪が広がっています。第2木曜日中央町内会館にて「よしだっこ」、第3木曜日に新生町会会館にて「フリースペースよしだっこ」を開催し、多い時には40組を超える親子が参加し盛況です

高齢者への支援

- 「さがしてネット」の取組では、認知症行方不明高齢者捜索模擬訓練に加え、小中学校の保護者にも広報をしています
- 一人暮らし高齢者の火災予防の呼びかけや住宅防火チェックリストを活用し個別訪問にて、啓蒙活動を行ってきました。高齢者・要援護者への支援カードとして、状況把握と災害時の共助のあり方の検討と推進をしています

災害時要援護者への支援

- 令和5年度に取組み状況調査を実施し、ほとんどの自治会町内会で要援護者支援が自主防災組織活動として確立、進展していることが確認できました。
- 毎年、災害時要援護新規対象者への意向確認実施時期に合わせて独自のポスターを作成、周知・啓発を行うことにより、要援護者支援事業の理解促進、活動の円滑化、日頃の備えへの意識醸成を図りました

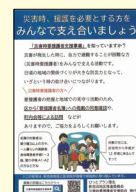
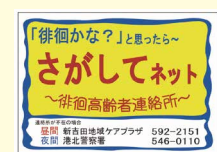
健康づくり

- 心と体の健康づくりの推進のため「やすらぎ塾」を開催しています。2か月に1回の茶話会で班活動の企画を決め、ウォーキング、ものづくり、朗読劇等活発に班活動を行っています
- 新規メンバー募集のためにやすらぎ塾だよりを3回発行し、第4期中に登録メンバーが100人を越えました。メンバー内でもSNSを用いて交流をし男性の参加者も増えています

◆今までの取組

大規模災害に備えて継続的な住民の防災意識の向上への取組が必要です。また、実際に災害が発生した場合に、実効性のある支援体制・協力体制を構築することも必要です。

住民のみなさんが地域を知り子どもから高齢者まで多くの方の健康づくりや多世代交流が図られるよう、誰もが参加できる新吉田地区内を巡るウォーキングイベントの企画を検討していきます。



新吉田地区の活動と今後の取組

子育て支援、健康づくり部会では、これまでの取組を継続させていきます。高齢者支援、災害時要援護者支援については、統合し啓蒙活動等に取り組んでいきます。新たに、災害時の備えをテーマに、災害時に備えた自助・共助の意識醸成に向けた取り組みをはじめます。

子育て支援

安心して子育てができる
まちを目指します

主な取組

- ・子育てサロン「よしだっこ」「フリースペースよしだっこ」の運営
- ・リーフレット等を活用した親子への周知
- ・支援の輪の拡大（担い手確保）



【子育てサロン「よしだっこ」クリスマス会の様子】

健康づくり

「やすらぎ塾」を通して心と体の健康づくりを推進します
特に高齢期の男性の
地域参加を促していきます

主な取組

- ・ウォーキング、健康麻雀、男の料理教室、朗読劇等班ごとに定期的に活動を行う
- ・活動の周知



【朗読劇班】

災害時の備え

地域住民の自助・共助による
防災意識の向上を目指します

主な取組

- ・地域防災拠点（指定避難所）等の避難所の周知
- ・在宅避難の周知、災害時に備えたローリングストックの推奨
- ・被害想定啓蒙活動



【防災意識向上のための取組】



高齢者の支援

高齢者や要援護者が安心して
暮らせるまちづくりを進めます

主な取組

- ・さがしてネット 認知症等行方不明高齢者捜索模擬訓練、小中学生の保護者への広報活動、連絡拠点への啓蒙活動
- ・一人暮らし高齢者の火災予防
- ・高齢者や災害時要援護者支援に関する周知啓発



【さがしてネット 模擬訓練】

計画の振り返り方法

4部会での取組に加えて、町内会・自治体、地域福祉活動団体の代表者で構成した推進委員会を年2回開催し、進捗状況の確認、振り返り、今後の方向性の検討を行います。

活動に関する問合せ

◆新吉田地域ケアプラザ
TEL.045-592-2151 FAX.045-592-0105



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
◆港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561